

変更) 7. (6) 砲丸投げの実施場所について

8. (5) 砲丸投げの実施場所について

競技注意事項

1、競技規則について

本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2、ウォーミングアップについて

- (1) 練習は補助競技場、投擲練習場を各自使用すること。練習場は混み合う可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。
- (2) 投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) 投擲種目の競技中は補助競技場の使用を制限するので注意すること。
- (4) 本競技場の朝の開放時間は以下の通りとする。時間を厳守して使用すること。

31日（金） 8：00～9：15

1日（土） 7：30～9：15

2日（日） 7：30～9：15

3、招集について

- (1) 招集所は、バックスタンド裏側(掲揚台の北側)に設ける。なお、男女棒高跳の招集は競技実施場所(バックストレートピット側)で行う。
- (2) 種目別の招集開始および招集完了時刻はプログラムの競技日程に記載してある。
- (3) 招集の方法は、次のとおりとする。
 - ① 競技者本人は、招集開始時刻になったら、招集所において競技者係からアスリートビブスをつけたユニフォーム、腰ナンバー標識、シューズ、持ち込み衣類や所有物の商標等の確認を受け、待機すること。招集完了時刻に競技エリアへ移動する。
 - ② TR6.3.2により、スマートフォン等の機器を競技場に持ち込むことはできない。
 - ③ 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ他種目同時出場届(招集所に用意)を招集所(競技者係)に提出すること。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を欠場したものとする。

- (4) リレー競技はオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度リレーオーダー用紙（招集所に用意）にチームにつき1部記入して、各ラウンドの第1組招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること（リレーの編成についてはTR24.11を適用する）。
- (5) 競技者の準備が整った場合、競技開始時刻よりも前に競技を開始することがある。

4、欠場について

- (1) 競技者の欠場は、原則として5月30日(木) 12:00までに欠場フォーム（後日公開）で受け付けた者のみとする。
- (2) 当日やむを得ない理由で欠場する者は、各ラウンドの第1組招集開始時刻までに欠場届（招集所に用意）を招集所に提出すること。その届け出た種目に限り欠場を認める。
- (3) ラウンドや番組の変更の可能性があるので、事前に欠場が分かっている場合は必ず申し出ること。

5、アスリートビブスについて

- (1) 番号は、2024年度東北学生陸上競技連盟登録番号とし、当連盟が作成、配布したものを使用すること。
- (2) 5000m、10000m、3000mSC、10000mWについては主催者側で用意したオーダー番号のものを使用する。当該種目へ出場する競技者は、招集開始時刻までに自身のアスリートビブスを持参の上で招集所にて各自受け取り、ユニフォームに付けた状態で招集時の確認を受けること。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの左右横や後方に取り付けること。
- (4) 跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。

6、番組編成及び、走路・競技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順は、主催者が公平に番組編成を行い、その結果をWeb上に掲示する。
- (3) 800m以下のトラック競技において、選手の棄権状況により出場選手が9名以下となった場合、予選ラウンドを実施せずに再度番組編成を行い、決勝ラウンドのみを開催する。その場合の競技時間はタイムテーブル記載の決勝ラウンドの競技時間に準じる。

7、フィールド競技について

- (1) フィールド競技における持ち時間は、日本陸上競技連盟競技規則 TR25. 17 に準じる。
- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習 A	練習 B	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男	1m70	1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後 3cm きざみ
	女	1m35	1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後 3cm きざみ
棒高跳	男	※	※	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m50	以後 10cm きざみ
	女	※	※	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	以後 10cm きざみ

※棒高跳の公式練習については、指定の高さではなく各選手の申し出があった高さで行う。

※優勝が決まった後にバーを上げる場合は、競技者は当該審判員あるいは審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

- (3) 走高跳及び棒高跳の第 1 位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は 2cm、棒高跳は 5cm とする。
- (4) 三段跳において、踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は 1 2 m、女子は 9 m とり、競技を行う。ただし、競技者レベルに合わせて審判長が判断し、男女ともに砂場までの距離を変更する場合がある。
- (5) 円盤投、ハンマー投、やり投は補助競技場にて行う。
- (6) 砲丸投げのみ本競技場で行う
- (7) フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画された試技の映像を指定された区域内で見ることは助力とはならない。また、映像をより詳しく見るために、競技者が映像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生器を手にする 것도助力とはならない。

8、混成競技について

- (1) 招集は 1 日目、2 日目の最初の種目は競技開始時刻の 2 0 分前に完了する。
- (2) 各日程 2 種目目以降の招集は、トラック種目は各スタート位置にて 10 分前に、フィールド種目は各試技場において 2 0 分前に完了する（ただし、棒高跳は 3 0 分前に完了する）。以後は、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	7	
	男	1m50	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後 3cm きざみ

走高跳	女	1m20	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後 3cm きざみ
棒高跳		2m70 ※	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	以後 10cm きざみ

※ただし競技者のレベルに合わせて審判長が判断し、複数の高さを設定することがある。

(4) 円盤投、やり投は補助競技場にて行う。

(5) 砲丸投は本競技場で行う。

9、競技用器具について

(1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいない。ただし、投てき物及び棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有の投てき物については競技開始1時間前に大会本部（技術総務）にて検査を受け、許可されたものでなければ使用できない。

(2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。

(3) シューズの厚さに関してはWAの制限を超えないこと。

靴底の最大厚さは以下の通りとする。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。

(4) シューズ検定については審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、実施する。

10、抗議について (TR8 参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えてジュリー（上訴審判員）に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

1 1、表彰及び対校得点について

- (1) 各種目優勝者には優勝メダルを、8位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は3位まで行い、4位から8位までは受付で賞状を渡す。競技終了後大学毎に受け取りに来ること。
- (2) 表彰の際は、大学指定のジャージまたはTシャツを着用し、商標名の入った服装は避けること。
- (3) 成績の優れた男女各1名を最優秀選手として選出する。最優秀選手賞は、今大会中における成績を参考として、大会会長・大会委員長・大会副委員長の3者により決定する。
- (4) 対校得点は、1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。
- (5) 男女総合・トラック・フィールド優勝校には、東北学生陸上競技連盟杯を授与する。順位決定について、得点が同等の場合は上位入賞種目の多い方を上位とする（1位種目の多い学校、1位種目数が同数であれば、2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下、同様）。これで決定しない場合は4×400mRの順位で決定する。

1 2、その他

- (1) 雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- (2) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (3) ユニフォームは各大学で審判員が同一チームと判断できるものを着用すること。
- (4) 開・閉会式共に、部旗のある大学は持参し、参加すること。開会式は部旗を持つ代表者1名、閉会式は全員参加とする。
- (5) 大会1日目、2日目終了後、シートやテントを競技場コンコース等に置いていくことを認めるが、スタンドに置いていくことは認めない。また、紛失、破損について主催者は責任を一切負わない（各学校で風雨対策を行うこと）。
- (6) ゴミは各自持ち帰ること。
- (7) 前日練習は5月30日(木) 16:00~19:00に補助競技場を開放する。
- (8) 開門・閉門時間は以下の通りとする。

	(開門時間)	(閉門時間)
第1日目……………5月31日(金)	7:30	17:30
第2日目……………6月1日(土)	7:30	17:30
第3日目……………6月2日(日)	7:30	16:30

※進行状況により前後する可能性がある

(9) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2024年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

(10) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合は、その大学から弁償代を徴収する。